

神戸市環境マスタープラン（神戸市環境基本計画） の改定について

目次

1. 環境マスタープラン（環境基本計画）概要
2. 環境マスタープラン（環境基本計画）改定について
3. 参考資料

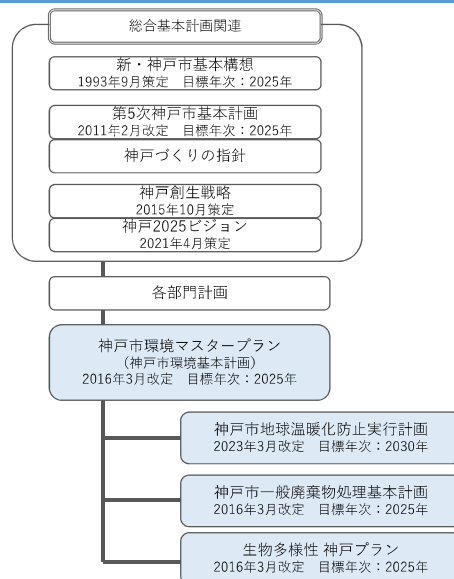
※別紙 市民アンケート（案）

1. 環境マスタープラン（環境基本計画）概要

環境マスタープラン（環境基本計画）の位置づけ

1

- 「神戸市民の環境をまもる条例」に基づく健全で快適な環境の確保に関する基本的な計画。
- 神戸市総合基本計画を実現するため、神戸市基本計画と連携・相互補完する部門別計画として位置付けられている。
- 市の環境施策を網羅する大綱として、施策の基本的な方針や目標等についての大枠を定めるものであり、具体的かつ詳細な施策やその詳細な目標については3つの下位計画（「地球温暖化防止実行計画」、「一般廃棄物処理基本計画」、「生物多様性 神戸プラン」）にゆだねている。
- 現行の計画期間が2025年度で満了することに加え、気候変動や生物多様性の損失、環境汚染など地球環境を取り巻く社会情勢の変化等によって新たに生じた課題への対応を進めるため、現行計画の改定を行う。



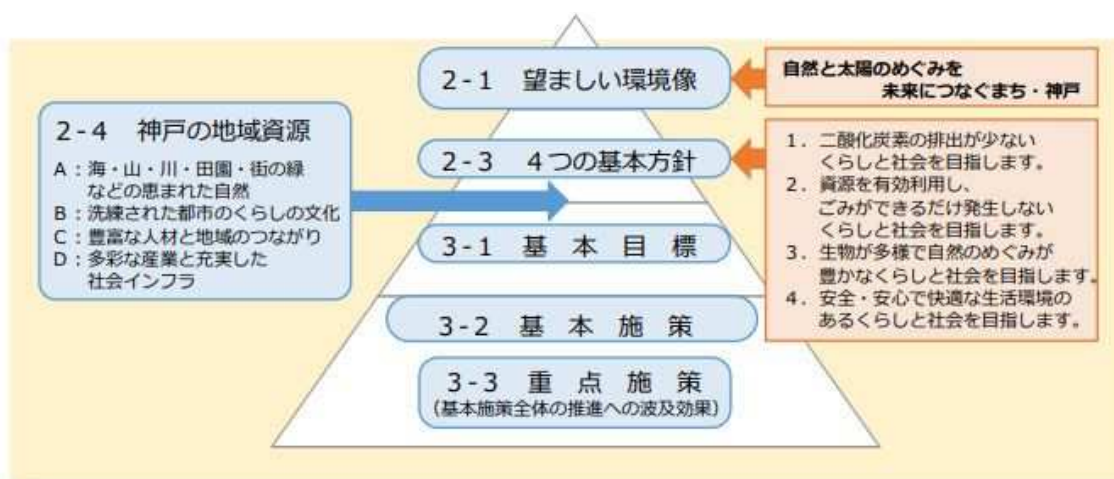
環境マスタープラン（環境基本計画）・関連計画の策定経緯

2

	1995年(平成7年)～	2000年(平成12年)～	2011年(平成23年)～	2015年(平成27年)～
神戸市基本計画	第4次神戸市基本計画 1995～2010年度（15年）		第5次神戸市基本計画 2011～2025年度（15年）	
環境基本計画	神戸市環境保全基本計画 1996～2010年度（15年）	新・神戸市環境基本計画 2002～2010年度（9年）	神戸市環境基本計画 2011～2020年度（10年）	神戸市環境マスタープラン 2016～2025年度（10年）
一般廃棄物 処理基本計 画	第1次一般廃棄物処理基本計画 1997～2006年度（10年）	第2次一般廃棄物処理基本計画 2001～2010年度（10年） 第3次一般廃棄物処理基本計画 2006～2015年度（10年）	第4次一般廃棄物処理基本計画 2011～2020年度（10年）	第5次一般廃棄物処理基本計画 2016～2025年度（10年）
生物多様性 神戸プラン			生物多様性 神戸プラン2020 2011～2020年度（10年）	生物多様性 神戸プラン 2016～2025年度（10年）
地球温暖化 防止実行計 画		(前進) 神戸市地球温暖化防止地 域推進計画 2000～2010年度（10年）	神戸市地球温暖化防止実行計画 2011～2020年度（10年）	神戸市地球温暖化防止実行計画 2015～2030年度（15年） 神戸市地球温暖化防止実行計画 2022～2030年度（9年）

現行・環境マスタープラン(2016年策定)の構成

3



2. 環境マスタープラン（環境基本計画） 改定について

改定の流れ

4

	2024年度			2025年度		
環境保全審議会	第56回審議会	第57回審議会	第58回審議会	第59回審議会	第60回審議会	
環境マスタープラン （環境基本計画）	改定について	振り返り・ 意見収集	骨子案報告	素案作成	素案報告（審議会諮問）	審議・ パブリックコメント
					審議会答申	策定・公表

改定方針

5

- ① 計画期間は2026年度から10年間（目標年次：2036年度）とする
- ② 現行計画策定後の新たな施策の体系整理を行う
- ③ 市民・事業者とともに取り組む計画を目指す
- ④ 上位計画（次期・総合基本計画）の見直し・改定との整合
- ⑤ 国の第六次環境基本計画（2024年5月閣議決定）、兵庫県の環境基本計画（2024年度中策定予定）との整合
- ⑥ 市民目線で分かりやすい内容・文章表現で構成する理念計画とする

改定スケジュール【2024年度】

6

時期	検討事項	内容
第56回保全審 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画改定について ・第1回市民ワークショップの結果報告 	
8～12月	①現行計画の進捗状況の振り返り及び課題の抽出・整理	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針（定量目標）、基本目標（基本施策）、重点施策の実施状況を整理
	②国・兵庫県および他都市の環境基本計画の整理・先進事例の抽出・とりまとめ	【抽出条件】 <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市と社会・自然条件等が類似している ・市民や事業者等が読みやすいよう工夫されている
	③全委員アンケートの実施	【設問案】 ※参考に現行計画の進捗状況資料を添付予定 <ul style="list-style-type: none"> ・計画に盛り込むべき視点・項目 ・市民、事業者への意見収集
	④市民、事業者アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市の環境に対する考えや今後の課題について意見を収集
	⑤市民ワークショップおよび市民団体へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・開催予定の環境イベントと併せてワークショップを実施 ・市内で環境活動を行う市民団体の意見を収集
第57回保全審 1月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等の意見収集結果および現行計画の振り返りを踏まえた骨子案の報告 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて計画素案作成 	

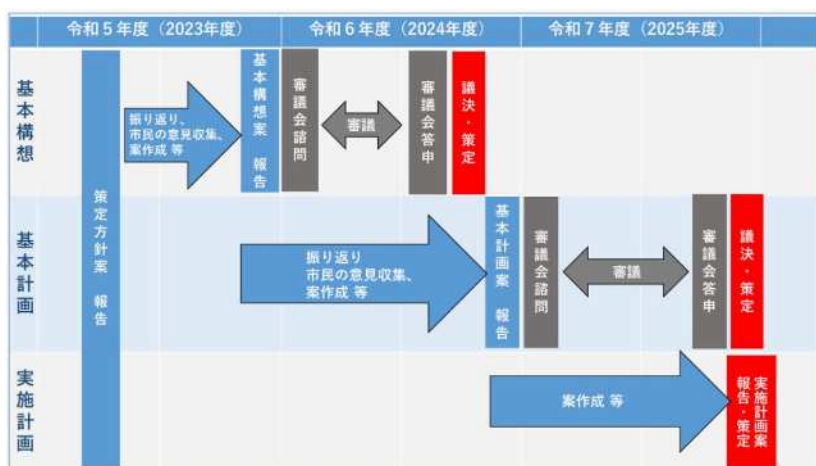
改定スケジュール【2025年度】

7

時期	検討事項	内容
第58回保全審 6月頃	・計画素案について（諮問）	
夏頃	・計画素案に対する全委員アンケートの実施	
第59回保全審 秋～冬頃	・委員アンケートの結果を踏まえた修正案の報告 ・パブリックコメントの実施について	
冬頃	・市議会への報告 ・パブリックコメントの募集	
第60回保全審 年明け	・答申案の審議	
2～3月	・市議会への報告 ・計画策定、公表	

参考 神戸市総合基本計画 改定スケジュール

8



※次期「基本構想(案)」(概要)より (https://www.city.kobe.lg.jp/documents/73254/01_jikikihonkousou_gaiyou_1.pdf)

次期「基本構想（案）」

神戸は、海と山に囲まれた美しいみなとまちです。開港以来、海外との交流を重ね文化や流行を日本に生みだしてきました。神戸は、多彩な表情を見せるまちです。都会と里山の共存。洗練されたまち並みと下町の活気。まちに溶け込む坂道も毎日違う風景を見せてくれます。神戸は、人間らしい。あたたかみのあるまちです。幾度となく困難を乗り越えた絆。多様性にあふれる開かれた気風。いつでも神戸は。すべてのひとをやさしく包み込みます。

これまで神戸には多くのものが受け継がれてきました。これからも神戸は。世代や立場を超えた繋がりの中で。広く内外に貢献し。未来に向けて進んでいきます。

培ってきた技術と知の集積により時代を彩る産業とひとが育つまちへ。世界を臨む海や空からひとが集い。新たな価値の創造を実現するまちへ。

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら。それぞれの夢に挑戦できるまちへ。豊かな自然とひとの営みが織りなす。一人ひとりが幸せを感じられるまちへ。

神戸は、いつまでもまちの誇りを育み。次代に紡いでいきます。

※次期「基本構想(案)」(本文)より (https://www.city.kobe.lg.jp/documents/73254/02_jikikihonkousou_honbun.pdf)

【今後の予定】～7月21日：パブリックコメントの実施
8月：第3回審議会（パブリックコメントを踏まえた審議・答申案の議論）
12月：議決・策定

「自然と太陽のめぐみ」とは、

- 本市は、大都市としてはまれな自然環境に恵まれた都市であり、六甲山系や帝釈・丹生山系の山々、北区や西区に広がる田園・里山環境、瀬戸内海などが産み出す様々な豊かな自然のめぐみ（生態系サービス）を享受しています。
- 自然のめぐみとしては、農産物等の食品の提供、大気中のCO2濃度等気候の調整、水資源の供給、自然災害の緩衝、遺伝的多様性・種の多様性の維持、レクリエーションの場の提供等が挙げられます。
- また、本市は瀬戸内海式気候帯に属し、晴天日数や日射量が多く、「太陽」の光に恵まれています。
- 「太陽」は再生可能エネルギーの源であり、私たちが受けるこれらの恩恵を「自然と太陽のめぐみ」と表現しています。

「未来につなぐまち・神戸」とは、

- 私たちが享受している「自然と太陽のめぐみ」は、将来の世代にわたって継承していくべきものです。
- そのために、化石燃料の消費等に伴う温室効果ガスの排出を大幅に削減すると同時に生活の豊かさを実感できる「二酸化炭素の排出が少なくていい社会」を、資源の採取、生産、流通、消費、廃棄などのあらゆる段階で、廃棄物等の発生抑制や循環資源の再利用などにより「資源を有効利用し、ごみができるだけ発生しないくらしと社会」を、地域の生物多様性が適切に保たれ、自然とのふれあいの場や機会が確保された自然のめぐみを将来にわたって享受できる「生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会」をそれぞれ目指します。
- そして、安全・安心で快適な生活環境のあるくらしと社会を目指し、健全でめぐみ豊かな環境を未来に継承していくために、「持続可能な社会」を実現していくことが重要です。
- この「持続可能な社会」を前提とした上で、更に未来に向けて発展させたまちを、みんなで創造し、引き継いでいく姿が本市の理想とする将来像と考え、「未来につなぐまち・神戸」と表現しています。

基本方針の方向性

11

現行・環境マスタープラン（2016年2月改定）		次期・環境マスタープラン
【基本方針】	【重点施策】	【方針におけるキーワード】
二酸化炭素の排出が少ないくらしと社会 定量目標： ・最終エネルギー消費の削減量 ・再エネ導入率	①低炭素社会の実現に資するエネルギー政策の推進 ②木質バイオマス等の活用	・カーボンニュートラルの実現（温室効果ガス排出量の削減） ・グリーントランスフォーメーション（GX）の推進 ・緩和策（再生可能エネルギーの導入促進、脱炭素型ライフスタイルへの転換等）
資源を有効利用し、ごみができるだけ発生しないくらしと社会 定量目標： ・家庭系ごみ、事業系ごみ排出の削減量	③2Rの推進、食ロスの削減 ④ごみ処理施設の効率化	・循環経済への移行による持続可能な地域と社会づくり ・廃棄物管理基盤の強化と着実な適正処理
生物が多様で自然のめぐみが豊かなくらしと社会 定量目標： 今見られる神戸の生きもの種数を維持する	⑤在来種の保護・外来生物の防除 ⑥自然環境の維持	・ネイチャーポジティブ ・30 by 30 ・神戸ならではの自然 ・持続的な資源の供給と利用による循環 ・自然に触れる機会の創出
安全・安心で快適な生活環境のあるくらしと社会 定量目標： ・法令、市が定める基準の達成	⑦光化学オキシダント、PM2.5への対策	・大気・水・土壌保全と騒音・振動・化学物質対策 ・環境基準の達成 ・快適な生活環境の維持
【計画の推進】 ・全ての主体の協働と参画 ・環境教育・環境学習の推進		【計画全体に係る視点】 ・全ての主体の協働と参画 ・企業連携 ・環境教育・環境学習の推進、情報発信 ・広域化

アンケートの実施

12

目的

神戸市の環境及び環境施策等に対する**市民、市民活動団体、事業者**の意識・意見を調査し、環境マスタープラン・一般廃棄物処理基本計画・生物多様性神戸プランの改定に向けた基礎資料とする。

市民アンケート

● 対象

神戸市ネットモニター登録者（※神戸市内に在住・在勤・在学している、15歳以上の市民）約8,000人

● 調査方法

「神戸市ネットモニター」アプリを通して配布・回答

● 実施期間

2024年10～12月頃

市民活動団体アンケート

● 対象

神戸子どもエコチャレンジ21倶楽部(※)など

※次世代を担う子どもたちが、成長に応じて地球にやさしい環境活動に気づき・考え・行動できるよう、事業者・民間団体・行政が一緒になって神戸の子どもたちへの環境教育を普及し、支援するための組織。

● 調査方法

郵送により調査票を配布、郵送・FAX・WEBサイトより回答

※回答をもとに、2～3団体にヒアリングを実施予定。

● 実施期間

2024年9月～10月頃

事業者アンケート

● 対象

神戸市環境保全協定締結事業者（102社）など

● 調査方法

郵送により調査票を配布、郵送・FAX・WEBサイトより回答

● 実施期間

2024年9月～10月頃

概要

- アンケートと併せて市民意見を収集するため、2024年6月および8月～10月に市民ワークショップを実施する。
- 幅広い参加者層の確保のため、環境局にて開催予定の環境イベントに合わせて行う。

対象

- 神戸市在住・在学・在勤で中学生以上の方
- 各回30名程度

各回テーマ（予定）

開催時期	テーマ	場所
6月8日（土）	ごみ	東遊園地アーバンピクニック
8月	生物多様性	未定
9月	脱炭素	未定
10月	環境保全	未定

【参考】市民ワークショップ 第1回目の結果

開催概要

14

日時・場所

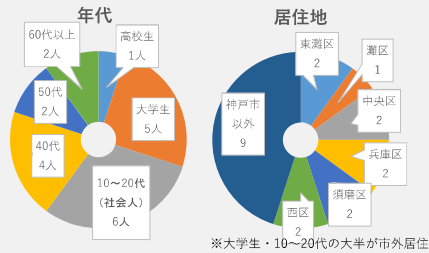
2024年6月8日（土）10時30分～12時00分 / 東遊園地アーバンピクニック

事前アンケート

参加申込時に、事前アンケート（3問）を記入

参加者

計20人（+同伴の小学生1人）



テーマ

「ごみ」をテーマに3つの課題を設定し、3テーブルに分かれてディスカッションを行った。

- ① 脱温暖化・自然環境との連携（キーワード：CO2削減、プラスチック、衣服、おむつ）
- ② 循環経済（キーワード：ごみの減量・資源化、食ロス）
- ③ 人口減少、高齢化に対応した処理体制の構築

事前アンケートへの意見（抜粋）

15

① 暮らしの中で環境について意識していること、重点を置いていることはありますか？

- ・ ごみの分別。
- ・ できる限りマイボトルやマイカトラリーを持参。
- ・ レジ袋をもらわない、エコバッグを使う。
- ・ 食品ロスを減らす。
- ・ 生ごみはキエーロに投入。
- ・ 暮らしの中で、ストレスにならない程度に自分のできる地球に優しい選択をする。
- ・ 環境に配慮してつくられた製品の購入。

② 今の神戸市の環境で良いところや課題は何だと思えますか？

- ・ 街の近くに海も山もある。自然環境が豊か。
- ・ 町を歩いていると道が綺麗。
- ・ 若い世代から高齢者の世代まで、環境をより良くするための活動をしている人たちがいる。
- ・ 街なかにもっと木が植わっていてほしい。
- ・ 場所によってはばい捨てが多い。
- ・ 紙ごみを気軽に捨てられるスポットがほしい。
- ・ 環境イベントは特定の人しか知らないことも多いので、宣伝に力を入れるべき。

③ 10年後の神戸市の環境をどのようにしたいと思えますか？

- ・ 豊かに自然を活かしながらか残して、観光地というよりも環境にいい街で有名になってほしい。
- ・ 子どもたちがのびのびと自然の中で遊べる環境が増えてほしい。
- ・ 空き缶やタバコのばい捨てがない町に。
- ・ より安全で綺麗な環境。
- ・ 市民が自発的に環境保全に関わる。
- ・ 環境に配慮した暮らし方が実践しやすい街。

① 脱温暖化・自然環境との連携

- 街に木陰をたくさん作る。
- 公共交通機関の普及・利用促進。
- バイオマスプラスチックの活用。
- 古着のリユースやリサイクルショップ、フリーマーケットの活用。
- 繰り返し使えたり土にかえるおむつの開発。
- 自然に触れる機会を増やす、放置竹林や森林の管理。

② 循環経済

- アップサイクル、リサイクルの推進。
- プラスチック包装や過剰包装をやめる。
- 必要なものを必要な分だけ買う。
- 資源回収ステーションの拡充。
- てまえどりの推進。
- フードドライブやフードシェアの促進。
- 節約しながら経済を回す。

③ 人口減少、高齢化に対応した処理体制の構築

- 綺麗な街を保って住みたい人を増やす。
- 分別を分かりやすくする。
- 自治会の活発化、若者と高齢者の繋がりづくり。
- 高齢者にやさしいごみ収集。

● その他ごみについて気になること

- 分別が難しい。
- たばこの吸い殻のぼい捨てが多い。
- 意識の高い人と低い人の差が大きい。
- 供給過剰によってごみの減量より貨幣価値が優先されている。
- 空き家とごみ。
- 災害（大雨）が起こって流れるごみ。

【参考】

第6次環境基本計画（2024年5月閣議決定）
第6次兵庫県環境基本計画（仮称）骨子（案）



出典：「第六次環境基本計画の概要」（環境省）（https://www.env.go.jp/council/content/f_01/000225216.pdf）（2024年7月1日時点）



出典：「第6次兵庫県環境基本計画（仮称）骨子（案）」（兵庫県）（https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/application/files/1717/1152/8608/1_6.pdf）（2024年7月1日時点）

【参考】神戸市環境行政のあゆみ

神戸市環境行政のあゆみ

19

	1950～1960年代	1970年代	1980～1990年代
神戸市の主な取組	1950年 ・清掃局設置 1954年 ・神戸市清掃条例制定 1955年 ・神戸市騒音防止条例制定 1958年 ・第1回大気汚染調査を実施 1962年 ・衛生局に公害係を設置 1967年 ・公共用水域の水質調査を開始 1968年 ・大気汚染監視センター開設 ・小学生3年生社会科副読本「ごみのはなし」作成	1970年 ・不法投棄対策連絡会を発足 ・市内主要企業と公害防止協定を締結 1972年 ・清掃局から都市環境局に ・「神戸ごみ戦争非常事態宣言」発表 ・「神戸クリーン作戦」を展開 ・国連人間環境会議に市長が政府代表顧問として出席 ・「人間環境都市宣言」を発表 ・神戸市民の環境をまもる条例制定 ・環境局発足 1976年 ・神戸市自動車公害防止条例制定 1978年 ・神戸市環境影響評価要綱制定	1987年 ・低公害車フェアの開催 1992年 ・「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」に市長が出席 ・神戸市地球環境市民会議を設置 1994年 ・神戸市民の環境をまもる条例全面改正 1995年 ・阪神・淡路大震災の発生により、災害廃棄物対策室設置 1997年 ・ペットボトル・空きびんの分別収集開始
国内外の動向	1956年 ・水俣病を公式確認 1967年 ・公害対策基本法公布	1971年 ・環境庁発足	1993年 ・環境基本法交付 1997年 ・COP3開催（京都議定書採択） ・環境影響評価法公布 1998年 ・地球温暖化対策の推進に関する法律公布

	2000年代	2010年代	2020年代
神戸市の主な取組	<p>2001年</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル工房あづま開設 「ひまわり収集」全市実施 <p>2002年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）」に市長が出席 <p>2004年</p> <ul style="list-style-type: none"> KEMS（神戸環境マネジメントシステム）の創設 分別区分を見直し6分別収集に <p>2006年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もったいないやん！KOBE 運動」実施 <p>2008年</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみの指定袋導入 神戸市で「G8 環境大臣会合」開催 <p>2009年</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気自動車の公用車への導入 	<p>2010年</p> <ul style="list-style-type: none"> 神戸版レッドデータ2010公表 <p>2011年</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の発生により、石巻市へ災害支援隊を派遣 「夏の節電コンテスト」実施等節電対策に取り組む <p>2012年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こうへCO2バンク」開始 六甲山森林整備戦略策定 <p>2013年</p> <ul style="list-style-type: none"> PM2.5にかかる注意喚起情報の発信開始 国の環境モデル都市に選定 <p>2015年</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料電池自動車の公用車への導入 ばい捨て・路上喫煙防止啓発活動「ステンスワンプロジェクト」実施 水素サプライチェーン構築実証事業、水素エネルギー利用システム開発実証事業を開催 	<p>2020年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2050年カーボンニュートラル」宣言 <p>2022年</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界初の液化水素の大規模な国際間輸送に成功 「てまえどり」が新語・流行語大賞2022に選出 <p>2023年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「KOBE 里山SDGs戦略」策定 「外来生物展示センター」リニューアルオープン 北区山田町の里山林・棚田・ため池が自然共生サイトに認定
国内外の動向	<p>2000年</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環型社会形成推進基本法公布 資源循環利用促進法公布 <p>2008年</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性基本法公布 	<p>2010年</p> <ul style="list-style-type: none"> COP10開催（名古屋議定書・愛知目標採択） <p>2015年</p> <ul style="list-style-type: none"> COP21開催（パリ協定採択） 国連サミットで「自足可能な開発のための2030アジェンダ」採択 <p>2019年</p> <ul style="list-style-type: none"> G20大阪サミット開催（大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの共有） 	<p>2022年</p> <ul style="list-style-type: none"> COP15開催（昆明・モントリオール生物多様性枠組採択）

市民アンケート（案）

【タイトル】

神戸市の環境施策について

【実施期間】

令和6年 月 日（ ）～ 月 日（ ）

【担当】

環境局環境企画課

【概要（前置き文）】

神戸市では、2016年に策定した「神戸市環境マスタープラン（神戸市環境基本計画）」に、環境施策の方針や目標を定めています。今後、「神戸市環境マスタープラン」を改定するにあたり、市民のみなさんの意見をお聞かせください。

また11月～12月には、神戸市のごみ施策や生物多様性について別途アンケートを実施予定ですので、ご協力よろしくお願いたします。

【設問】

問1（必須・複数選択型）

神戸市の環境に関する取り組みで知っているものを選択してください。

1. ごみの減量・資源化
2. 温暖化対策
3. 自然との共生
4. 公害防止対策
6. 知っているものはない

問2（必須・複数選択型）

今後、神戸市が環境分野で重点的に取り組むべき内容はどれだと思いますか。

1. ごみの減量・資源化
2. 温暖化対策
3. 自然との共生
4. 公害防止対策
5. 自由記述（ ）

問3（必須・単一選択型）

神戸市では「神戸市環境マスタープラン（神戸市環境基本計画）」を定め、取り組みを進めています。あなたは「神戸市環境マスタープラン」を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

市民アンケート（案）

問4（必須・単一選択型）

問3で「知っている」を選択した方にお聞きします。「神戸市環境マスタープラン（神戸市環境基本計画）」を知ったきっかけは何ですか。

1. 神戸市のホームページ
2. 広報紙（広報こうべ）
3. 神戸市の SNS（GO GREEN KOBE）
4. 自由記述（ ）

問5（必須・複数選択型）

市民の環境問題への関心を高めるために必要なことはどれだと思いますか。

1. 親子向け環境学習講座「こうべエコちゃれぜみ」の拡充
2. 大人向け環境学習イベント（例：大人を対象とした「こうべエコちゃれぜみ」）の開催
3. 環境問題に関する情報発信
4. 環境活動に携わる方同士が情報交換をするための交流の場
5. 神戸市環境マスタープラン（神戸市環境基本計画）の普及
6. 自由記述（ ）

問6（任意・自由記述型）

その他、神戸の環境や環境マスタープランについてご意見があれば記載ください。（250文字以内）

（ ）